

注: 本年10月から、青森市保健所が新しく稼動しましたが、システムの都合上、10月までの青森市分は東地方保健所管内分に含まれます。

第48週の発生動向(2006/11/27~2006/12/3)

1. 水痘については、東地方保健所管内で第40週から**警報**が継続しています。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方保健所管内において、第45週から**警報**が継続しています。むつ保健所管内では第47週から**注意報**が継続しています。弘前保健所及び上十三保健所管内では、新たに**注意報**が出されました。

第48週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森市		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ													1	0.09	1	0.02	-1
(60) 咽頭結膜熱					13	1.44					2	0.50	2	0.25	17	0.40	4
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			23	2.56	11	1.22			13	2.17	14	3.50	10	1.25	71	1.69	21
(62) 感染性胃腸炎	9	9.00	150	16.67	29	3.22	74	14.80	49	8.17	45	11.25	126	15.75	482	11.48	234
(63) 水痘	5	5.00	31	3.44	7	0.78	3	0.60	4	0.67	6	1.50	16	2.00	72	1.71	4
(64) 手足口病					7	0.78			1	0.17					8	0.19	0
(65) 伝染性紅斑					1	0.11			5	0.83	1	0.25	3	0.38	10	0.24	-3
(66) 突発性発しん					3	0.33	1	0.20	3	0.50	6	1.50	2	0.25	15	0.36	-1
(67) 百日咳																	0
(68) 風しん																	0
(69) ヘルパンギーナ																	-1
(70) 麻しん(成人を除く)																	0
(71) 流行性耳下腺炎	21	21.00	29	3.22	6	0.67	2	0.40	24	4.00	19	4.75	10	1.25	111	2.64	28
(73) 急性出血性結膜炎																	0
(74) 流行性角結膜炎			9	3.00	3	1.50	2	2.00	1	0.50			2	1.00	17	1.55	15
(59) RSウイルス感染症																	-1
(82) マイコプラズマ肺炎					7	7.00									7	1.17	4

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■は警報 ■は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

- (47) 急性脳炎(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (18年計 2人)
- (58) バンコマイシン耐性腸球菌感染症(五類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (18年計 2人)

感染症の窓

感染性胃腸炎 (続報)

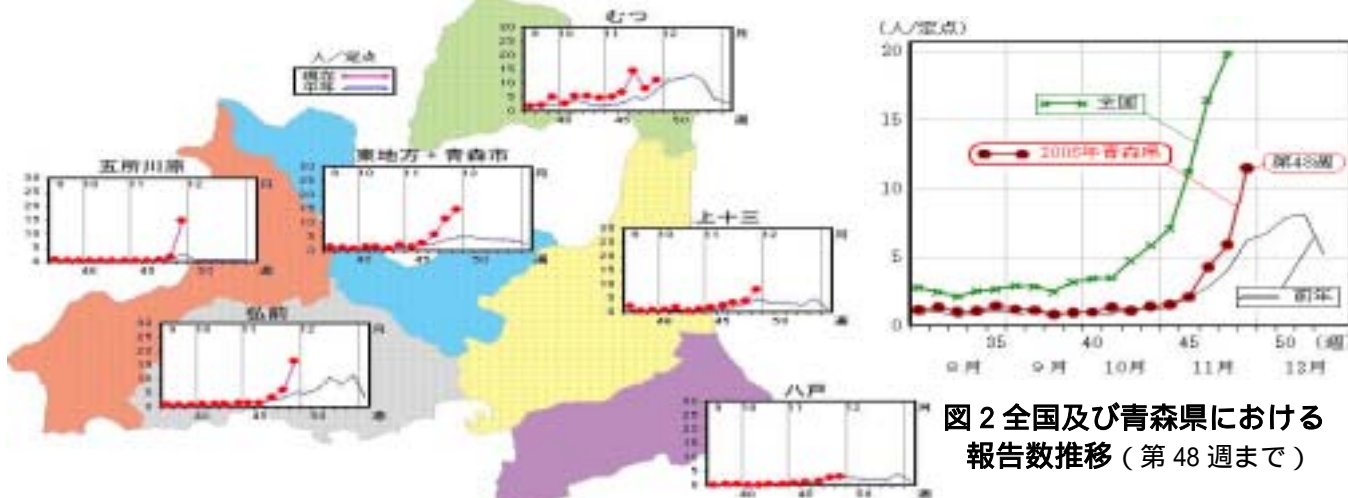


図1 青森県における保健所管内別報告数(第48週まで)

県内における感染性胃腸炎患者報告数が急増し、保健所管内においては、八戸保健所を除くすべての管内で増加しています(図1,2)。また、ノロウイルスを原因とする集団発生例の報告もあることから、今後、注意が必要です。**予防**: 石鹸と十分な流水による**手洗い**。加熱調理後の食品は素手で触らない。二枚貝は中心部分までしっかり加熱。**吐物、下痢便などウイルス汚染物の処理には、使い捨て手袋、マスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム等を浸したペーパータオルで、ウイルスが飛ばないように、静かに取り扱うことが重要です。**

関連情報: 保健衛生課 ノロウイルスによる感染性胃腸炎にご用心 <http://www5.pref.aomori.lg.jp/hoken/9207/cpub.html>